

特別活動学習指導案

題材名：学友会選挙を学級全体で行おう。

授業日時 令和3年11月10日（水）第3校時

〔(1)-イ 学級内の組織づくりや仕事分担処理〕

授業学級 2年E組

授業会場 2年E組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

学級の一人として自分たちで選んだ代表者を支えていこうという意識を高めることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：自分たちで選んだ代表者が胸を張って活動するために、代表者以外にできることはないか考える。
- ・活動：学友会選挙に自分なりの立場で参加するにはどんな考え方が必要なのかを話し合う。

(3) 展開

過程	学習活動	◇教師の指導・支援 評価	時間
活動の開始 自己の見返し	1. アンケートなどから、本時の学習の見通しをもつ。	◇学友会選挙が直前に迫り、自分たちで代表者を選んだということ、自分たちの代表を支えあうことが重要だということを再確認する。 ◇アンケートをもとに学友会の選挙活動に協力できていると確実に感じている級友が半数に満たないこと確認し、議題を設定する。	7
	【議題】学友会選挙に自分なりに参加するにはどんな考えが必要なのか話し合おう。		
活動の展開 集団決定	2. 課題の原因について考える。	◇参加したいと思っている人がいるのにも関わらず参加できている人が少ないのはなぜなのか考えるよう促す。	33
	3. 個人の考えをグループや全体に共有し、どんな考えが必要かについて話し合う。	◇原因について考えたうえでどんな考えが、代表者を支え学級全体で選挙をするために必要なのか話し合うよう促す。 ◇グループの考えを絞り、ホワイトボードにまとめるよう促す。 ◇1つの意見に絞ることで他の意見を否定してはいけないということを確認する。 ◇それぞれのグループの考えにおいて、共通することに注目し、どんな考えで選挙に参加するか、学級としての意志をまとめる。	
活動のまとめ 個の意識の高まり	4. 本時の学習を振り返る。	◇本時の活動を振り返り、個人の意見を記入するようにし、2～3人の生徒に発言を促し、全体で共有する。 【評価】学級の一人として、学友会選挙に貢献したいという意欲をもっている。 (発言・ワークシート)	10